

会議名	第2回港区高校生世代の居場所づくりに関する検討委員会（高校生世代）
開催日時	令和6年6月11日（火）18時～19時30分
開催場所	港区役所 9階 研修室
委員	（出席者） 都立雪谷高等学校 石橋 哲也 私立広尾学園高等学校 廣實 真仁 私立広尾学園高等学校 福田 有佳 私立大妻高等学校 松下 向日葵 日本女子大学 匿名希望 （欠席者） 私立広尾学園高等学校 遠山 夏町
ファシリテーター	特定非営利活動法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ
事務局	子ども家庭支援部子ども若者支援課
会議次第	<開会> 1 第1回目の振り返り 2 アイスブレイク 3 （仮称）高校生世代の居場所ビジョンについて ① 進め方説明 ② 当日記入 ③ グループ化 ④ 関連性の並び替え ⑤ 居場所に求めるもの 4 副委員長の選考 5 事務連絡 <閉会>
配付資料	資料1 （仮称）高校生の居場所ビジョンの検討方法について 参考1 第1回港区高校生世代の居場所づくりに関する検討委員会議事録（公開用） 参考2 第1回港区高校生世代の居場所づくりに関する検討委員会議事録（非公開用） 参考3 都内在学の中高生の新たな第三の居場所の検討—公共施設における継続的なアニマルセラピー導入の可能性—（松下 向日葵）
会議の結果及び主要な発言	
事務局	<開会> 1 第1回目の振り返り (事務局より説明)
ファシリテーター 各委員	2 アイスブレイク 委員名簿に記載されている順番で自己紹介をお願いします。 (自己紹介)

### 3 (仮称) 高校生世代の居場所ビジョンについて

#### ① 進め方説明

ファシリテーター

一つ一つの付箋に名前を書き、模造紙に貼る。その中からいくつかピックアップし理由の説明を行い、グルーピングする。他グループの中にも似た要素を持つものがあれば並び替えて調整していく。最後は「居場所とはこういうものです」と言語化するところまで話を進めたい。そこまでできなくとも、各居場所の共通点を見つけたい。

本日のルールとして、他の人が勝手に動かすと書いた本人の意思とは異なるカテゴリーへ移動される可能性があるため付箋を動かせるのは、書いた本人だけとする。質問はあるか。

各委員

(「大丈夫」と言う者あり)

#### ② 当日記入

(各自記入)

#### ③ グループ化

ファシリテーター  
委員A

それでは、順番に意見を掲示し、説明をお願いしたい。

同じクラスの全員に居場所についてアンケートを行い記入した。

「自然の中」が居場所、バードウォッチングが趣味の人。

「生徒会室」、生徒会が理由で成績を落としてしまうほど、好きであり生きが  
い。

「騒げるところ」、野球部の明るい子で、みんなと騒ぐことが好き。

「スタバ」と回答したのはキラキラしたギャルのような子。高校生にとって外  
せない場所。1人で行くと優越感に浸れるし、複数で行っても楽しい。

「押し入れの中」、いつも一緒にゲームをする友人。あまり人と関わるのが好  
きでなく一人でいるのが好きな人。クラスの中では、半分ほどが「家」を居場所  
としていた。

委員B

「仲の良い友達」一緒にいて楽しいというよりは、気を遣わない、体力を使わ  
ない、隣にいと落ち着く人。

「ゲームとアニメと本」その世界に没頭できる、現実逃避ができる、自分だけ  
の時間が楽しめる。

「カラオケ」友達とも行くが、一人でも行きたくなる。また誰かと行きたくな  
るというループ。自分の好きなテンションでいられる。

「図書館」誰にも関わらずにいられる。席でパソコンを開くと優越感を感じら  
れ、良い気持ちになる。

「カフェ」と記載したが、さっきの委員Aが説明した内容と異なる。スタバの  
新作は必ず飲みに行くが、オシャレな内装でアウェイな感じ。ドトールなら落ち  
着ける。

「ペット」、ニホンイシガメを飼っていて、戯れる時間は幸せを感じる。

ファシリテーター  
委員C

誰かの意見を聞きながら、思いついたら書き足しても良い。

「学校の親しい人物」学校で人間関係に問題が生じた場合、親には言いにくい  
が友人には相談しやすい。相談できる相手がいるということが一番の居場所。

「自然と触れ合える場所」、試験前に公園で勉強することがあるが、家よりも  
集中できるし、公園で勉強している自分が格好良く感じられる。

「興味を共有できる場所」自分の好きを見つけるとそこが居場所になる。クラ  
ブや部活がその例。

「静かで集中できる場所」も非交流を求める人にとっては居場所になると思  
う。

委員E	<p>優越感を感じられる場所とはどこなのだろうか。「自分のことが好きになれる場所」だと思う。</p> <p>「パーソナルスペース」自分の布団の中が好き。また、心理的な障壁を感じづらい、心理的な足かせにならないような施設があると良いと思う。福祉施設に行くと周囲から「そんなところに行っているのか？」という目で見られてしまうためよりフランクに行けるところが良い。</p> <p>「自習できるところ」「軽食が取れるところ」「自分と同じ趣味や特性を持っている仲間と出会えるところ」も自分にとっては居場所になる。</p>
委員D	<p>居場所の目的とは命を守ることだと思う。</p> <p>「命を守ること」を研究しているなかで自殺を防ぐことを模索していると、原因は学校と家庭に問題があることが分かった。そのため自殺を防ぐにはそれら以外の第3の居場所が大事である。</p> <p>学校に統合失調症の母をもつヤングケアラーの友人がいる。その子が休日、限界に達して泣きながら電話をしてきたことがあった。普段は普通に見えていても、突然限界をむかえることがある。相談できる、人と話せる、ふらっと寄り添ってみようかと思える居場所があるとよい。</p> <p>男子のほうが相談しづらいと感じる傾向がある。個別のブースがあり、カウンセラーがたまに来る、常駐していない施設があるといいのかもしれない。</p> <p>居場所というワードが全面的にでていると行きづらくなるので、動物触れ合いコーナーや自習室のような「おいで！」という気軽さを出している程度が丁度よい。</p>
ファシリテーター	<p>どのような感じ方をするから居場所だと思うのかでカテゴライズしていく。</p> <p>共通点を見つける等少しずつグループ化をしていきたい。カテゴリーになりそうなフレーズを少しずつ出して移動させる。</p>
委員A	自分のクラスの半分近くが「家」だった。
委員B	「一人」か「みんな」か。
委員E	「遊ぶ」「静か」
委員B	「動物」
委員C	「触れ合える」
委員D	「安心感」とか「落ち着く場」ソフト面。
委員E	「お金がかからない」
ファシリテーター	「お金がかからない」は心理的障壁か。
委員E	福祉を強く感じると嫌だ。わざわざ守られに行く感じが嫌だ。
委員B	「学校」
委員C	安心感も「身体的」なものと「精神的」なもので分けられるのではないか。
委員E	「自然」
委員B	「趣味」
ファシリテーター	Wi-Fiは何に分類されるか。
委員E	「お金がかからない」か。
事務局	<p>④ 関連性の並び替え</p> <p>カテゴリー分けをもう少し深くする。最終的には居場所とはこういう場所だという言語化をしていくことが目標。よりみんなが納得できる居場所を探していきたい。</p>
委員E	組み換えか細分化か。方向的にはどちらか。
ファシリテーター	組み換え。
委員A	「趣味」と「遊ぶ」を合体して、「好きなことができる」というカテゴリーができる。
ファシリテーター	今のように二つのカテゴリーを1つにまとめてもよいし、1つのカテゴリーを

	2つに分けてもよい。
委員E	交流と非交流で分ける。
委員B	「動物」と「自然」を合体させたい。
委員E	「癒し」ではどうか。
委員C	自然は身体的な安心感につながると思う。公園に行くとそう感じる。
委員E	身体的安心感をつくるなら心理的安心感もつくるべき。
ファシリテーター	家はなぜ安心感あるのか。
委員B	自分を害するものがないからではないか。
委員E	親しんだ場所だからか。
ファシリテーター	家を「1人」というカテゴリーに分類するのは違うか。
委員A	家の中でも押し入れとかトイレとか一人の時間はある。
委員E	1人でも、家族とでも安心する。
委員A	家族と旅行に行くのが好きだからという意見もあるため、必ずしも「1人」ではない。
ファシリテーター	自分を害しないとは、物理的なことか精神的なことか。
ファシリテーター	家族で過ごす家の場合何に分類されるか。
委員A	交流型ではないか。
ファシリテーター	親しい友達は心理的な安心感か。
委員D	ユニバーサルとターゲット、交流と非交流がグラデーションになっているため、分けて考えるのはよくない。
	家庭的には恵まれても、普通の人と言われている人は自身も周りも気づいていない。そういう人たちのために、動物等のいる場所を設けて、触れ合いを通じて段々と心が開けていくようなこともある。
	明確にグループ分けをしてしまうと、その間にいる人たちがどうなるのかという問題が出てくる。
委員C	インターネットは「お金がかからない」カテゴリーに分類されているが、人と関わらないという「安心感」に分類するべき。
ファシリテーター	「お金がかからない」の中にも色々ある。
委員B	さっきのWi-Fiはどこに分類されたか。
ファシリテーター	「お金がかからない」に分類されている。
委員B	図書館で小学生がゲームをしていたが、その理由はWi-Fiがあるからだった。Wi-Fiには「趣味」の要素もある。
	(付箋を並び替える)
委員E	グラデーションの話があったので、放射状に付箋を貼る方がよいのではないか。
ファシリテーター	貼っていこう。
委員B	趣味が好きというのは、共有が好きか、一人で行うのが好きかに分けられる。(趣味が)「好き」の中でも交流か非交流かに分けられる。
ファシリテーター	カテゴライズに迷ったものはあるか。
委員A	「東京」が迷う。
委員B	自分の部屋を好きな物(非交流)に分類したが、自由が保障されているにカテゴライズしたい。
委員C	「自分らしくいられる」にはどうか。
委員B	それは少し違うのではないか。
	「好きなこと」を「交流」に分類した。しかし自分の好きなアニメの話にただ興味を持って聞いてくれるだけの受け皿になってくれる友人に話したい。同じアニメ好きに話すのは好きではない。
ファシリテーター	これを踏まえて第三回の大人もいる会議でビジョンを形にする。さらに時間をとれたらより細分化できた。言語化は第3回としたい。

ファシリテーター ⑤ 居場所に求めるもの  
本日は行わない。

ファシリテーター 4 副委員長の選考

ファシリテーター まず選考方法を皆と決める。案は3つ、1つは立候補の意思確認をして立候補意思の有無にかかわらず一人一票で投票。2つ目は立候補の意思確認、1人であれば確定、複数であれば立候補者の中から投票により決める。3つ目はくじ引きである。

事務局 まずは、副委員長の役割について事務局から説明をお願いする。  
副委員長の役割としては、高校生世代の会議での進行役と、全体会議で高校生世代の意見を報告すること。

全員 2番目の決め方が良い。

ファシリテーター では立候補者の中から決める。立候補者はいるか。  
(委員2名が挙手)

ファシリテーター 立候補した理由をプレゼンし、その後、匿名で投票する。

■委員 立候補した理由は主に3点である。1つは今まで学級委員長を担ってきたため貢献できると考えるため。2つ目はやる気もあり、大人の委員に高校生委員の意見を報告するというところで、大人と高校生の懸け橋になりたい。3つ目は単にこの会が楽しくて好きだから貢献したい。

■委員 学級委員会で副委員長をしている。この会が楽しいし話すことも好き。自分も大人との懸け橋になりたい。社会経験が大事で、このような機会は珍しいので、有意義だと思う。皆を引っ張るリーダーシップだけでなくフォロワーシップも大切でありこの場で培える。言葉遣いも子どもよりであるため、分かりやすく話せる。また、自分にはユーモアもあると感じている。

(投票：福田委員3票獲得、■委員2票獲得)

ファシリテーター 投票の結果、副委員長は福田委員が選考された。

福田委員 選ばれた以上、相応の責任をもって頑張りたい。

ファシリテーター 役割に関わらず、各委員で意見を出し合い支えることが大切である。

事務局 5 事務連絡

事務局 ① 第2回検討委員会有識者の会は、6月28日(金)に開催する。

② 第3回検討委員会は、7月25日(木)18時から、参集とオンラインの併用になる。開催通知など後日送付する。

<閉会>